元祖 モリモリ書店 WEB版

令和２年度　愛知教育大学附属岡崎中学校　読書だより

Pもやもやさまーずが早く通常再開してほいです。

第5話　R02.04.24(金)
『誰かの心に寄り添うって　どういうことだろう。』

★今回、紹介する本は、『こころのナース夜野さん①（以下続刊）』（著/水谷緑、出版/小学館）です。

同じ著者の精神科ナースになったわけ　おすすめしたい。

精神科を舞台にしたマンガを今回紹介します。とっても重たい精神的な病のお話ですが、それを大きく包み込むかのような温かい絵柄がすてきです。

主人公は、精神科で働くことになった新人看護師。「心の病気ってなんだろう」と思いながら、日々、患者さんの心の痛みと向き合っていこうとします。

虫が見える人、自傷行為をする人、幻聴がする人など、本当に重たいものを抱えた人が多く登場しますが、それを不器用ながらも受け止めようとする看護師たちの姿に心をうたれます。

誰かの心に向き合うことは、難しいことかもしれないけれど、向き合おうとするその姿勢がとても大事だと思わされます。わからないからこそわかることもあるのかも。

『いいこと言おうとしなくていいのよ。一緒にいる、一緒にやる、というだけでもいいのよ。それも看護なの。』
―（P.48）

「その人らしさ」とか「その人の困るきもち」とか、きちんとみとめてあげられる人になりたいです。

あったかい絵柄がまたよいです。